

エネルギー・化学品カンパニー

- エネルギー開発・トレード(原油、石油製品、LPG、LNG、天然ガス、水素・アンモニア、リニューアブル燃料等)
- 化学品事業・トレード(石化基礎製品、合成樹脂、生活関連雑貨、精密化学品、医薬品、電子材料、環境配慮型素材等)
- 電力事業・トレード(再生可能エネルギー発電、電力、熱供給、太陽光パネル、蓄電池、バイオマス燃料、その他関連部材)

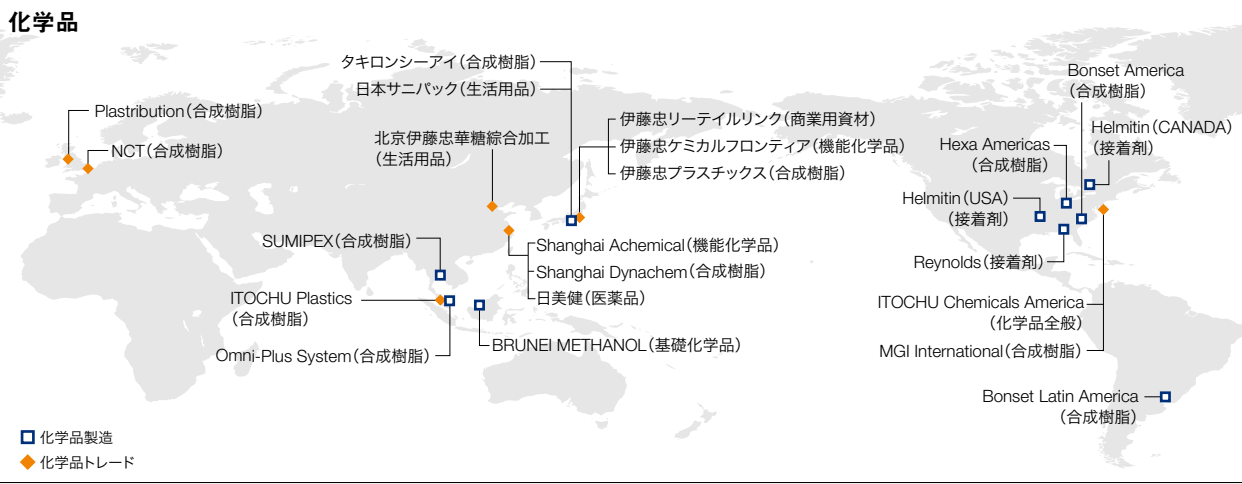
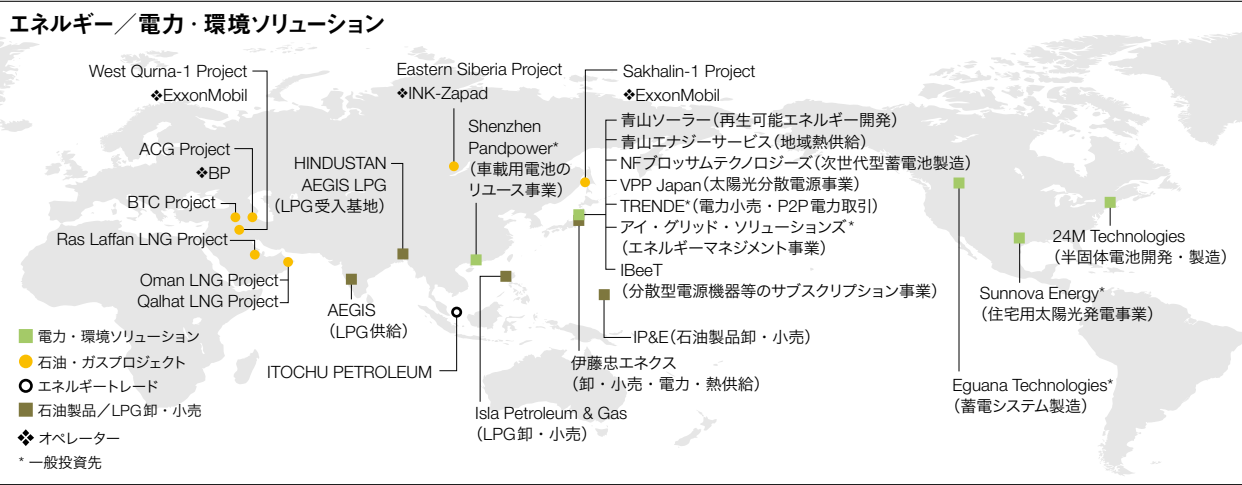
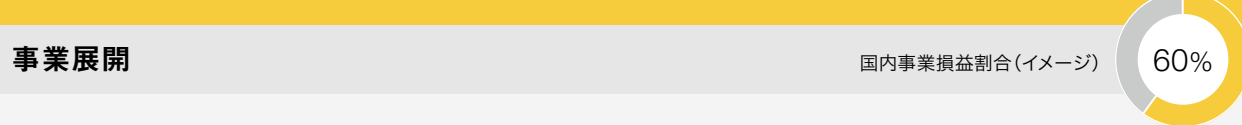


エネルギー・化学品カンパニー プレジデント
(兼) 電力・環境ソリューション部門長
田中 正哉

左から
エネルギー・化学品カンパニー エグゼクティブ バイス プレジデント
(兼) エネルギー部門長 **大久保 尚登**
化学品部門長 **田畑 信幸**
エネルギー・化学品カンパニー CFO **高井 研治**
エネルギー・化学品経営企画部長 **中尾 功**

Strength カンパニーの強み

- 環境に配慮したエネルギー開発・トレード
- 強力な事業会社群と海外拠点を活用した化学品分野における事業展開力
- 次世代電力分野における事業投資とトレードビジネスの両輪から成る網羅的なバリューチェーン



2020年度レビュー(確実な成果)		企業価値	=	創出価値
				資本コスト 成長率
	日本初となる商用フライト規模での石油代替航空燃料供給を実現			
	ブランドオーナーと共に、環境配慮型素材を使用した製品のブランディングや共同開発を推進			
	日本エア・リキード(同)との協業による水素バリューチェーン構築に着手			
	蓄電池関連ビジネスにおける優良パートナーとの資本・業務提携強化、環境価値の還元の仕組みを備えた新製品の開発			
	バイオマス発電所の運転開始、風力発電への優良パートナーの出資参画等、大型再生可能エネルギーの事業化と太陽光分散電源開発の推進			

成長機会の取込み(持続的な成長)		企業価値	=	創出価値
				資本コスト 成長率
	グループ会社との協働による水素・アンモニア等の次世代燃料バリューチェーン構築推進			
	環境配慮型素材の共同開発や循環型(リサイクル)ビジネス等、社会課題の解決を図るビジネスモデルの拡充			
	リユース電池を用いた産業用・業務用大型蓄電池の開発、半固体電池等、次世代電池事業の推進			
	再生可能エネルギー発電所の開発・保有・運営を通じた再生可能エネルギーの安定供給の実現、SDGs ニーズを踏まえた電力、バイオマス燃料トレードの拡大			
	知見活用及び優良パートナーとの協業によるCCUS(CO2回収・有効利用・貯留)への取組み			

リスクへの対応(資本コストの低減)		企業価値	=	創出価値
				資本コスト 成長率
	脱炭素社会実現に向けた、次世代燃料、再生可能エネルギー等、環境ビジネスへの取組強化			
	既存ポートフォリオの更なる環境負荷低減に向けた取組推進			

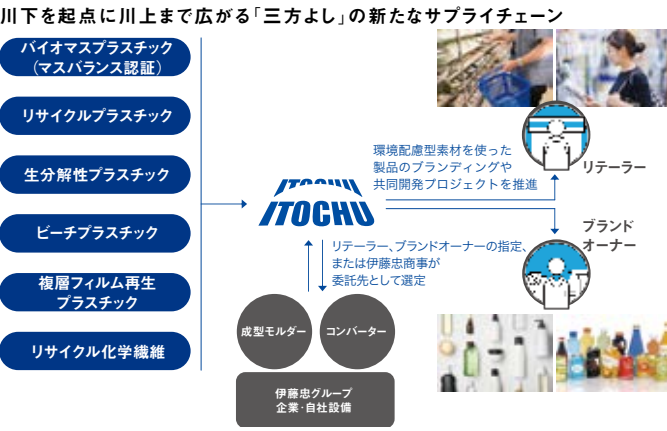
サステナビリティアクションプランに対応する項目に、該当するマテリアリティのマークを付しています。
アクションプランの詳細は、当社ウェブサイトをご参照ください。📄 <https://www.itochu.co.jp/ja/csr/itochu/activity/actionplan/>

技術革新による商いの進化 気候変動への取組み(脱炭素社会への寄与) 動きがいのある職場環境の整備
 人権の尊重・配慮 健康で豊かな生活への貢献 安定的な調達・供給 確固たるガバナンス体制の堅持

「マーケットイン」による事業変革の具体例

「マーケットイン」の環境ビジネスの推進

当社は、欧州企業との提携によるバイオマスプラスチックやリサイクルナイロン等の環境配慮型素材の導入、米国 TerraCycle 社との海洋ごみ由来再生プラスチックの展開やリサイクル・リユースモデルの構築等を通じて、環境問題に積極的に取り組んでいます。リテラーやブランドオーナーと共に、環境配慮型素材を使った製品のブランディングや共同開発プロジェクトを推進中です。そして、業界トップクラスの合成樹脂取扱数量と世界中の販売ネットワークを基盤として、川下を起点に川上まで広がる「三方よし」の新たなサプライチェーンの構築を目指した、「マーケットイン」の発想による環境関連ビジネスを進めることで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



化学品プロジェクト推進室
小林 拓矢